

医療安全 実践教育 研究会

設立記念学術集会

テーマ

医療安全教育の 実践的方法を求めて

日時

2014年**3月16日**(日)
10時30分～17時(10時 受付開始)

会場

滋慶医療科学大学院大学
(大阪市淀川区宮原1-2-8)新大阪駅 北口

研究会HP

<http://www.ghsj.ac.jp>

12月中旬からは
<http://www.msers.org> をご覧ください。

プログラム

■ 開会

■ 大会長講演

「医療安全管理学と医療安全実践教育」
滋慶医療科学大学院大学 学長 武田 裕

■ 基調講演

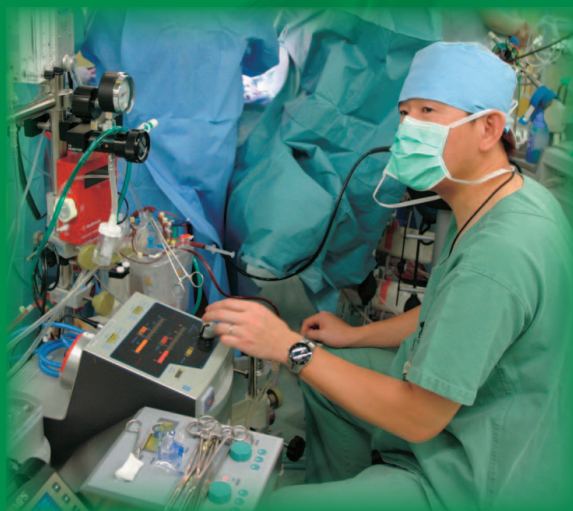
「医療の質・安全に関する卒後実践教育へのチャレンジ」
大阪大学医学部附属病院
中央クオリティマネジメント部 部長 中島 和江

■ シンポジウム

- ・「医療安全に関する卒前・卒後実践教育の試み」
自治医科大学附属病院
医療安全対策部 部長 長谷川 剛
- ・「全職員が参加する医療安全教育の実践」
倉敷中央病院
医療安全管理室 院長補佐 米井 昭智
- ・「臨床現場における
多職種協働実践教育の現状と可能性」
滋慶医療科学大学院大学 教授 田村 由美

■ 一般演題発表

■ 閉会 (17:30～ ネットワーキング)



— お問い合わせ・事務局 —



学校法人大阪滋慶学園

滋慶医療科学大学院大学内

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-8

[TEL] 06-6150-1336 [FAX] 06-6150-1337

[E-MAIL] info@msers.org [HP] <http://www.ghsj.ac.jp>

医療安全実践教育研究会

ご挨拶(開催趣旨)

医療の質を高め、患者さんの安全・安心を確保するには、医療に携わる多職種の連携・協働による“チーム医療”が欠かせません。チーム医療を実践するには、専門職としてのスキルとともに、コミュニケーション、チームワークといった“ノンテクニカルスキル”を身に付ける必要があります。

医療事故の多くはヒューマンエラー、ノンテクニカルスキルの不足から起きています。医療安全を実践するのは人です。人づくりは教育に始まります。医療教育はこれまで(医師、看護師など)専門職種に応じて“タテ型教育”が行われてきました。しかし、多職種が連携するには“ヨコ型の(卒後)教育”が重要です。

わが国初・唯一の「医療安全管理学修士課程」を有する滋慶医療科学大学院大学は『多職種連携の教育方針』を掲げて、医療安全の実践的リーダー人材を育成しています。教育ノウハウを積み重ねていますが、さらに幅を広げて教育水準を高めるため『医療安全実践教育研究会』を創設して、「設立記念学術集会」を開催致します。特に医療現場での安全のための実践教育の方法論確立に向けて、皆様と共に考え、学び合ひましょう。

設立発起人代表 武田 裕(滋慶医療科学大学院大学 学長)

演題募集 申し込み方法

演題名(50字以内)及び抄録本文(2000字以内、図表または写真を入れる場合は1点のみ)、発表者の氏名、所属機関などを明記して、送ってください。詳細はホームページ(登録フォーマット)をご覧ください。

演題登録受付期間：2013年12月16日(月)－2014年1月31日(金)

参加者募集 申し込み方法

どなたでも参加できます。 定員100名(先着順とさせていただきます)

学術集会、ネットワーキングの参加については、研究会のHPまたはFAXで、2月21日(金)までに申し込んでください。

参加費：3,000円 学生 1,000円 ネットワーキング(無料)

参加申し込み

下記事項を記載の上、FAX(06-6150-1337)またはメール(info@msers.org)でお申し込みください。

学術集会に参加します

ネットワーキングに参加します

(○印を付けてください)

所属機関名

部署名

役職名

お名前

電 話

FAX

住 所 〒

Eメールアドレス

ご意見・質問など